

2021/4月

令和3年度

シラバス

(年間指導計画)

静岡県東部総合美容専門学校

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

実務経験のある教員等による授業科目一覧表

(衛生専門課程美容学科) 令和3年度															
分類			授業科目	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	衛生行政・美容師法など美容師と関係法規について学ぶ	1通	31	1	○			○		○		
○			衛生管理	公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒法などについて学ぶ	1.2通	93	3	○			○		○		
○			美容保健	人体の構造及び機能、皮膚科学、疾患について学ぶ	1.2通	93	3	○			○		○		
○			美容文化論	美容の歴史、美容デザインについて学ぶ	1.2通	62	2	○			○		○		
○			美容技術理論	美容の基礎的理論から様々な美容についての目的や注意点などを学ぶ。	1.2通	155	5	○			○		○		
○			運営管理	サロン経営に必要な接客技術、労務管理、マーケティングなどを学ぶ	2通	31	1	○			○		○	○	
○			美容実習	シャンプー、カット、ワインディングなど美容師として必要な基礎的技術からメイク、ネイル、着付けなど総合技術を習得する。サロンワークの流れを知る	1.2通	930	30			○	○	○	○	○	
	○		美術	パーソナルカラーの理解、スタイル画を学ぶ	1.2通	62	2	○		○	○		○	○	
	○		栄養理論	健康や美を保つための栄養素について基本を学ぶ	1通	62	2	○			○		○		
	○		美容教養基礎	接客用語、所作、マナーを基礎から学ぶ	1.2通	62	2	○		○	○		○	○	
	○		エステティック	エステティック概論、フェイシャルエステの基礎技術を学ぶ	1通	62	2	○		○	○		○		
	○		総合技術	着付け概論から、浴衣、留袖を着せられる技術を習得、基礎的セット技術の習得、ヘアケアマイスターについて学ぶ	1通	62	2	○		○	○		○	○	
	○		総合技術ABCDEコース	より深く学習したい、専門的な技術を身につけたいコースを選び、コース別に行われる授業で技術の習得を目指します。5コースから選べます。	2通	124	4	○		○	○		○	○	
	○		選択S	ワインディング、オールウェーブ、コンクール対策として技術を習得	2通	62	2	○		○	○		○	○	
合計				14科目	1891単位時間(61単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年において、本校の規定している必修科目及び選択必修科目の授業を履修し、学科・実技全ての試験に合格していること。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	18週

昼間課程教育課程及び授業時数

昼間課程教育課程及び授業時数(2年生用)

【昼間課程美容学科】

	課 目	標準時数 (2か年)	学校授業時数(2か年)			備 考					
			1年	2年	計						
必修 課 目	関係法規・制度	30		31	31						
	衛生管理	90	62	31	93						
	保健	90	62	31	93						
	化粧品化学	60	31	31	62						
	文化論	60	31	31	62						
	美容技術理論	150	93	62	155						
	運営管理	30		31	31						
	美容実習	900	465	465	930						
	計	1410	744	713	1457						
	学校選択課目名	標準時数	1年	2年	計						
選 択 課 目	美術・デッサン	600	62	62	124						
	美容教養基礎		62	62	124						
	栄養理論		62		62						
	エステティック		62		62						
	総 合 技 術		62	62	124	186	選択				
	選 択 A										A ヘアメイクコース
	選 択 B										B ネイルコース
	選 択 C										C ブライダルコース
	選 択 D										D エステティックコース
選 択 E				E アイラッシュコース							
選 択 S		62	62	62	必修	ラインディング、ホールウェーブセッティング					
計	600	310	310	620							
合 計	2010	1054	1023	2077							

昼間課程教育課程及び授業時数(1年生用)

【昼間課程美容学科】

	課 目	標準時数 (2か年)	学校授業時数(2か年)			備 考				
			1年	2年	計					
必修 課 目	関係法規・制度	30		31	31					
	衛生管理	90	62	31	93					
	保健	90	62	31	93					
	化粧品化学	60	31	31	62					
	文化論	60	31	31	62					
	美容技術理論	150	93	62	155					
	運営管理	30		31	31					
	美容実習	900	451	479	930					
	計	1410	730	727	1457					
学校選択課目名		標準時数	1年	2年	計	備 考				
選 択 課 目	美術・デッサン	600	76	48	124					
	美容教養基礎		62	62	124					
	栄養理論		62		62					
	エステティック		62		62					
	総 合 技 術		62	62	124	186	選択			
	選 択 A									A ヘアメイクコース
	選 択 B									B ネイルコース
	選 択 C									C ブライダルコース
	選 択 D									D エステティックコース
選 択 E				E アイラッシュコース						
選 択 S		62		62	必修 ワインディング、ホルウェーブセッティング					
計	600	324	296	620						
合 計		2010	1054	1023	2077					

年間指導計画(シラバス)

教科名		対象学年	開講学期	区分
関係法規・制度		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	法学部卒業後、美容師としてサロン活動に従事し、美容組合に携わり、美容法規にもとづくサロン指導を行っている			
授業の内容				
衛生行政・美容師法など美容師と関係法規について学ぶ				
到達目標				
社会における法制度の意義と美容師として遵守すべき美容師法を理解し、国家試験合格を目指す				
評価方法				
定期試験の他に、ワークシートの完成、授業へ積極性を考慮し、総合的に判断。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1章 法制度の概要	社会規範と法制度の概説	4	
	法の形式	憲法と法律・命令・条例の関係についての概説		
5	第2章 衛生行政の概要	衛生法規の体系の解説	3	
	衛生を担う行政機関	保健所の業務内容の解説		
6	第3章 美容師法	美容師法の目的の概説	4	
	美容師法の体系	憲法の理念と美容師法の関係についての解説		
7	美容の定義	法律用語としての美容の意味の解説	2	
	美容師とは何か	美容師の定義とその資格の解説		
9	美容師養成施設	美容師養成施設の役割の解説	4	
	美容師の免許と登録	美容師免許と登録制度の解説		
10	管理美容師	管理美容師の資格とその責務の紹介	4	
	美容師の義務	美容師の業務上の義務の解説		
	美容所の開設	開設時に届け出をする諸事項の解説		
11	開設者が講ずべき衛生措置	開設者の義務の紹介	2	
	美容所以外での義務	美容を行う場所の開設		
12	立ち入り監査	立ち入り検査への対応についての解説	4	
	違反者に対する行政処分	各行政処分に関する解説		
1	罰則	美容師法第18条の詳説	3	
	第4章 関連法規	生衛法の解説		
	美容組合	美容組合に関する解説		
2	地域保健法	保健所と美容所の関わりについての解説	1	
	労働法	開設者または従業員としての心構えの解説		
		時数合計	31	
教科書	関係法規・制度・法令集			
使用教材	教科書、授業ごとに配布するワークシート			
留意点	各種規範の社会的背景も理解すること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
衛生管理		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	現役美容師として永年従事し、また美容組合で衛生指導に携わっている経験を活かし、美容所における消毒の意義、実践方法を習得できるように指導する			
授業の内容				
公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒法などについて学ぶ				
到達目標				
美容所における消毒の意義を理解し、その実践方法を習得させる				
評価方法				
定期試験の他、出席率、授業への積極性を加味して、総合的に判断。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1編 公衆衛生	公衆衛生の概説	6	
		公衆衛生の歴史	公衆衛生の歴史的経緯と発展の紹介	
5	公衆衛生の水準	死亡率、平均寿命の開設	6	
	美容所と保健所	保健所の業務内容の解説		
6	予防衛生の意義	予防衛生の意義の解説		
	生活習慣病	生活習慣病の紹介	6	
7	第2編 環境衛生	環境基準の紹介		
	生活環境	衣食住、上下水道のあり方の概説	4	
8	公害	汚染状態の指標の解説		
	美容所の環境衛生	美容所内の環境衛生に関する留意事項の解説	2	
9	第3編 感染症	感染症の概説	8	
	病原微生物	病原微生物の性質に関する詳説		
10	感染症の予防	予防手段の解説		
	感染症法		8	
11	予防接種法	予防接種の詳説		
	第4編 衛生管理技術	消毒の概説	6	
12	消毒に関する法規	消毒に関する法規の紹介		
	消毒法の種類	消毒法の種類の紹介		
1	理学的消毒法	理学的消毒法の解説	4	
	化学的消毒法	化学的消毒法の解説		
2	希釈法	水溶液の作り方の解説	8	
	器具の種類と消毒法	適性な消毒方法の選択		
	第5編 衛生管理の実践例	具体的な衛生管理技術の詳解	4	
			時数合計	62
教科書	衛生管理			
使用教材	教科書、授業ごとに配布するワークシート			
留意点	消毒が実際のサロンワークとしてイメージできるようにすること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
衛生管理		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	現役美容師として永年従事し、また美容組合で衛生指導に携わっている経験を活かし、美容室における消毒の意義、実践方法を習得できるように指導する			
授業の内容				
公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒法などについて学ぶ				
到達目標				
美容所における消毒の意義を理解し、国家試験合格を目指す。				
評価方法				
定期試験の他、出席率、授業への積極性を加味して、総合的に判断。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1編 公衆衛生	公衆衛生の概説	4	
		公衆衛生の歴史	公衆衛生の歴史的経緯と発展の紹介	
5	公衆衛生の水準	死亡率、平均寿命の開設	3	
		美容所と保健所	保健所の業務内容の解説	
		予防衛生の意義	予防衛生の意義の解説	
6	生活習慣病	生活習慣病の紹介	4	
	第2編 環境衛生	環境基準の紹介		
7	生活環境	衣食住、上下水道のあり方の概説	2	
		公害	汚染状態の指標の解説	
		美容所の環境衛生	美容所内の環境衛生に関する留意事項の解説	
9	第3編 感染症	感染症の概説	4	
		病原微生物	病原微生物の性質に関する詳説	
		感染症の予防	予防手段の解説	
10	感染症法	1～5類感染症の詳説	4	
		予防接種法	予防接種の詳説	
11	第4編 衛生管理技術	消毒の概説	2	
		消毒に関する法規	消毒に関する法規の紹介	
		消毒法の種類	消毒法の種類の紹介	
12	理学的消毒法	理学的消毒法の解説	4	
		化学的消毒法	化学的消毒法の解説	
1	希釈法	水溶液の作り方の解説	3	
		器具の種類と消毒法	適性な消毒方法の選択	
2	第5編 衛生管理の実践例	具体的な衛生管理技術の詳解	1	
			時数合計	31
教科書	衛生管理			
使用教材	授業ごとに配布するワークシート			
留意点	国家試験対策も随時行う。			

教科名	対象学年	開講学期	区分
美容保健	1年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子		講義	62(2)
実務経験	実務経験内容		
有	現役薬剤師として、薬局勤務で服薬指導をしている経験を活かして、表面的な美だけでなく、健康と美の結びつきを理解し、実践できる美容師の育成に努めるよう指導する科目である		
授業の内容			
人体の構造及び機能、皮膚科学、疾患について学ぶ			
到達目標			
人体の構造及び機能 皮膚科学を学ぶことにより 表面的な美を追求するだけでなく 健康と美の結びつきの重要性を理解し 実践できる美容師の育成に努める。また 早期より国家試験の問題を数多く解くことによって 国家試験合格にむけての基礎を修得させる。			
評価方法			
学期毎筆記試験、提出物で評価。評価は秀、優、良、可、不可とする			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	第1編 人体の構造 および機能	第1章 頭部頸部体表の解剖学 国試問題演習	6
5		第2章 骨格器系① 第2章 骨格器系② 国試過去問演習 第3章 筋系 国試過去問演習 第4章 神経系①	6
6		第4章 神経系② 国試過去問演習 第5章 感覚器系 国試過去問演習 テスト対策	6
7		期末テスト 解説	6
8		第6章 血液・循環器系①	2
9		第6章 血液・循環器系② 国試過去問演習 第7章 呼吸器 国試過去問演習 第8章 消化器①	6
10		第8章 消化器② 国試過去問演習 第1編 人体の構造および機能 総まとめ演習	8
11		期末テスト対策 期末テスト	6
12	第2編 皮膚科学	第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能①	4
1		第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能③	
2		第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能④ 第5章 皮膚及び付属器官の保健①	6
2		第5章 皮膚及び付属器官の保健②テスト対策 期末テスト テスト解説	6
		第6章 皮膚および皮膚器官の疾患①②	
		時数合計	62
教科書	日本理容美容教育センター発行 『理容・美容保健』		
使用教材	各章ごとに制作した重要事項のまとめのワークシートと練習問題		
留意点	各章ごとにワークシートに書き込み提出すること		

教科名	対象学年	開講学期	区分
美容保健	2年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子		講義	31(1)
実務経験	実務経験内容		
有	現役薬剤師として、薬局勤務で服薬指導をしている経験を活かして、表面的な美だけでなく、健康と美の結びつきを理解し、実践できる美容師の育成に努めるよう指導する科目である		
授業の内容			
人体の構造及び機能、皮膚科学、疾患について学ぶ			
到達目標			
人体の構造及び機能 皮膚科学を学ぶことにより 表面的な美を追求するだけでなく 健康と美の結びつきの重要性を理解し 実践できる美容師の育成に努める。また 早期より国家試験の問題を数多く解くことによって 国家試験合格にむけての基礎を修得させる。			
評価方法			
学期毎筆記試験、提出物で評価。評価は秀、優、良、可、不可とする。			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	第2編 皮膚科学	第6章 皮膚及び付属器官の疾患③④⑤	3
5		皮膚及び付属器官の疾患⑥⑦⑧	2
		皮膚疾患総合問題	
6		期末テスト対策	4
		期末テスト 解説	
7		国家試験対策NO. 1 復習と問題解説	2
8	第1編	国家試験対策NO. 2～3 復習と問題解説	1
9	人体の構造と機能	国家試験対策NO. 4～6 復習と問題解説	4
10		国家試験対策NO. 7～8 復習と問題解説	4
11		期末テスト対策 期末テスト	3
		国家試験対策NO. 9 解説	
12		国家試験対策No. 10～13 国試過去問	2
1		国家試験対策NO. 14～17 国試過去問	3
2		期末テスト	3
		期末テスト 解説	
		国家試験対策ファイナル 人体の構造と機能	
		国家試験対策 ファイナル 皮膚科学	
		4	
		時数合計	31
教科書	日本理容美容教育センター 発行の 『理容・美容保健』		
使用教材	各章ごとに制作した重要事項のまとめワークシートと練習問題 国家試験対策ワークシート		
留意点	多くの過去問題や演習問題を自主的に復習すること		

教科名		対象学年	開講学期	区分
化粧品化学		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
到達目標				
化粧品化学についての知識の習得と国家試験合格				
評価方法				
期末試験の他に、レポート提出等、総合的に判断する。(60点以上合格) 評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	1章 化粧品概論	化粧品の社会的意義と品質特性	2	
		化粧品の規制		
		化粧品の安全性と取り扱い上の注意		
		化粧品と安全性		
5	基礎化学	1.物質の構成	4	
		2.物質の構造		
		3.溶解とコロイド		
		4.イオンと水素イオン指数		
		5.物質の変化と化学反応		
6	基礎化学	6.酸化、還元反応	4	
		7.たんぱく質		
7	2章 化粧品用原料	1.化粧品対象の人体各部	1	
		2.水性原料		
9	2章 化粧品用原料	3.油性原料	4	
		4.界面活性剤		
10	2章 化粧品用原料	5.高分子化合物	3	
		7.香料		
11	2章 化粧品用原料	8.その他の配合成分	3	
		9.ネイル、まつげエクステンション用材料		
12	3章 基礎化粧品	1.皮膚清浄用化粧品	4	
		2.化粧水		
1	3章 基礎化粧品	3.クリーム、乳液	3	
		4.その他の基礎化粧品		
2		まとめ	3	
		時数合計	31	
教科書	化粧品化学			
使用教材	ワークブック、国家試験過去問題			
留意点	国家試験、実務に対応できる知識をつける			

教科名		対象学年	開講学期	区分
化粧品化学		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
到達目標				
化粧品化学についての知識の習得と国家試験合格				
評価方法				
期末試験の他に、レポート提出等、総合的に判断する（60点以上合格）評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	4章メイクアップ用化粧品	ベースメイクアップとポイントメイクアップの種類と剤形の知識の取得	2	
5	5章頭皮・毛髪用化粧品	シャンプー剤の分類と主成分の理解	4	
		ヘアリンス剤の使い分けと働きや成分の理解		
		ヘアトリートメント剤のはたらきの理解		
		スタイリング剤の分類と特徴の理解		
6	6章芳香製品と特殊化粧品	パーマの原理とパーマ剤の理解	4	
		ヘアカラーの種類とメカニズムの理解		
7	6章芳香製品と特殊化粧品	育毛剤の種類と機能原料の理解	1	
		芳香製品の種類と成分		
		サンケア製品の種類と特徴		
9	国家試験対策	美白用化粧品のメカニズムの理解	4	
		制汗防臭剤の成分		
10	国家試験対策	ニキビ用化粧品成分	3	
11	国家試験対策	国家試験過去問演習	3	
12	国家試験対策	国家試験過去問演習	4	
1	国家試験対策	国家試験過去問演習	3	
2	国家試験対策	国家試験過去問演習	3	
			時数合計	31
教科書	化粧品化学			
使用教材	ワークブック、国家試験過去問題			
留意点	国家試験、実務に対応できる知識をつける			

教科名	対象学年	開講学期	区分
文化論	1年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子		講義	31(1)
実務経験	実務経験内容		
有	10年以上従事していたサロンワークで芸奴等の独自の美容業務に携わった経験有り。 家業である美容室の変遷を見てきた経験を活かし、髪型など美容業の歴史を理解する科目である		
授業の内容			
美容の歴史、美容デザインについて学ぶ			
到達目標			
美容の歴史から日本の各時代の髪型・装飾品・服装を学ぶ			
評価方法			
学期末試験を行い、60点以上を合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	1章、2章	総論1～5、日本の美容業の歴史1	2
5	2章、3章	日本の美容業の歴史2～4、3章1節1～3	4
6	3章	ファッション文化史2節古代1～3	4
7	〃	3節1、期末試験、提出物確認、試験解説	1
9	〃	3節2、3、4節近世1-1	4
10	〃	4節2、5節近世II1～3	4
11	〃	6節近代1～3 期末試験、提出物確認	3
12	〃	7節現代I1、2、試験解説	3
1	〃	7節現代I2、3	4
2	〃	8節現代II1～3、期末試験、提出物確認、試験解説	2
			31
教科書	文化論、参考資料、授業プリント		
使用教材	ルーズリーフ、ファイル、DVD、技術理論2		
留意点	学期末試験の他、授業プリント等の提出物も評価の対象になる		

教科名	対象学年	開講学期	区分
文化論	2年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子		講義	31(1)
実務経験	実務経験内容		
有	10年以上従事していたサロンワークで芸奴等の独自の美容業務に携わった経験有り。 家業である美容室の変遷を見てきた経験を活かし、髪型など美容業の歴史を理解する科目である		
授業の内容			
美容の歴史、美容デザインについて学ぶ			
到達目標			
西洋史の流れと美容文化の関係を理解する			
評価方法			
学期末試験を行い、60点以上を合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	3章近代	明治・大正・昭和20年まで	3
	現代1	1945～1950年代	
5	3章現代Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	3服装、現代1980～1900①～③、2000年以降①～③	3
	4章西洋史1.エジプト	古代エジプト①～③	
6	2.古代ギリシャ	古代ギリシャ①～③、期末試験練習問題	4
	ローマ	古代ローマの生活とファッション④	
	3.古代ゲルマン	古代ゲルマン人の生活とファッション	
7	4中世ヨーロッパ	中世ヨーロッパ①～③、期末試験解説	2
	〃	中世ヨーロッパ④	
9	5近世Ⅰ16世紀	ルネッサンス①②	5
	6近世Ⅱ17世紀、	ルネッサンス③④、メンズファッション①②③	
10	7近世Ⅲ18世紀	フランス宮廷ファッション①②③	4
	8近代Ⅰ18世紀末	～19世紀初め、フランス革命①②	
11	9近代Ⅱ19世紀	産業革命①②③	2
	10現代Ⅰ1910～20	モダンファッション①②③、期末練習問題	
12	11現代Ⅱ1930～40	世界大戦後ファッション①②	4
	1	12現代Ⅲ1940～50	
1	13現代Ⅳ1960年代	ファッション革命①②	3
	2	14現代Ⅴ1970年代	
2	15、16現代Ⅵ、Ⅶ	プレタポルテコレクションの流れ、期末試験練習問題	1
		5章礼装	
			31
教科書	文化論、参考資料、授業プリント		
使用教材	ルーズリーフ、ファイル、DVD		
留意点	学期末試験の他、授業プリント等の提出物も評価の対象になる		

教科名	対象学年	開講学期	区分
美容技術理論	1年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子		講義	93(3)
実務経験	実務経験内容		
有	美容室でスタイリストとしての経験を活かして、美容の基礎理論から指導し、実践的な知識を習得できるように指導する科目である		
授業の内容			
美容の基礎的理論から様々な美容についての目的や注意点などを学ぶ			
到達目標			
美容の理論を理解して、適切な技術を行う			
評価方法			
学期毎の期末試験を行い、60点以上を合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	序章美容技術理論を学ぶ	美容理論と技術・作業姿勢・人体各部の名称	7
	1章 用具	美容技術における用具・コーム・ブラシ	
	10章メイクアップ	メイク用具の確認と保管・メイク概論・スキンケア	
5	1章 用具	シザーズ・レザー・ピン類・ヘアクリップ・ロッド	11
	10章メイクアップ	顔のプロポーション・スキンケアベースメイク	
6	1章 用具	ローラー、アイロン、ドライヤー	12
	10章メイクアップ	骨格と筋肉 期末テスト対策練習問題	
7	2章 シャンプー・インナー	総論～リンス・コンディショナー・トリートメント	5
		期末テスト解説	
8	1章 用具	スチーマー、遠赤外線機、	1
9	10章メイクアップ	ポイントメイク(眉・目・唇)、面取り	11
	3章ヘアデザイン	美容とデザイン	
10	4章 ヘアカット	ヘアカットとは～美容刃物、基礎理論、	12
		正しい姿勢、期末テスト対策練習問題	
11	5章パーマメントウェービング	歴史と現在、理論、期末テスト解説	10
12	7章ヘアカラーリング	ヘアカラーリング理論、色について、道具	8
1	5章パーマメントウェービング	パーマ剤の分類～縮毛矯正、期末テスト対策練習問	9
	10章メイクアップ	問題、ポイントメイク(頬)、皮膚かんせつ、色彩	
2	6章ヘアセット	ヘアセットとは～ウィッグとヘアピース	7
		テスト解説	
			93
教科書	技術理論 1, 2		
使用教材	授業プリント・参考資料プリント・ルーズリーフ・ファイル・参考教材・美容機械等		
留意点	提出物は必ず提出し、合格すること		

教科名	対象学年	開講学期	区分
美容技術理論	2年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子		講義	62(2)
実務経験	実務経験内容		
有	美容室でスタイリストとしての経験を活かして、美容の基礎理論から指導し、実践的な知識を習得できるように指導する科目である		
授業の内容			
美容の基礎的理論から様々な美容についての目的や注意点などを学ぶ			
到達目標			
美容師として必要なメイクアップの基礎を学び知識と技術を身につける			
評価方法			
学期毎の期末試験・小テスト・提出物等から評価。評価は秀、優、良、可、不可とする。			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	7章ヘアカラーリング	概論、染毛のメカニズム、パッチテスト	4
	10章メイクアップ	ステージメイク、皮膚かんせり	
5	9章ネイル技術	概論～公衆衛生～ネイルケア 復習	4
	7章ヘアカラーリング	パッチテスト、ヘアカラー小テスト	
6	〃	ヘアカラーリング、期末試験練習問題	8
	8章エステティック	概論～マッサージ理論、復習	
7	6章ヘアセッティング	期末試験解説、ローラー、ブロー、アイロン	6
8	〃	バックコーミング、アップ、ウィッグ・ヘアピース	2
9	〃	6章まとめ小テスト、	6
10	11章日本髪	由来～手入れ、かつら、まとめ練習問題	8
11	12章着付け	目的～一般的要領 まとめ小テスト	6
12		期末試験練習問題・解説	6
1	12章着付け	留袖～洋装花嫁礼装まとめ、小テスト 練習問題	6
2	序章～12章	総まとめ 国家試験対策 期末試験解説	6
			62
教科書	技術理論 1, 2		
使用教材	プリント類・文化論教科書・ルーズリーフ・ファイル・参考教材・美容機械等		
留意点	提出物は必ず提出し、合格すること		

教科名		対象学年	開講学期	区分
運営管理		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
宮口 秀和			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としてサロンワーク従事後、美容商材の経営者としての経験を活かして、美容業に就職するうえの心構えや、自分が経営者となるための知識、お客様の大切さを理解させ指導する科目である。			
授業の内容				
サロン経営に必要な接客技術、労務管理、マーケティング等を学ぶ				
到達目標				
就職するうえでの心構え、自分で店をもつための知識、お客様の大切さ等を理解させる。国家試験合格を目指す				
評価方法				
期末試験、授業の出欠状況、授業受講の態度等から学期毎評価し、60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1章 経営とは・経営者とは	経営が必要とされる理由 経営とは何か	2	
	第1章 経営とは・経営者とは	経営資源と経営計画		
5	第2章 理容業・美容業の経営	理容・美容業界の現状 競争の変化	4	
	第3章 資金の管理	資金管理とは コストを管理する		
6	第3章 資金の管理	収支と損益 会計の考え方	4	
	第3章 資金の管理	コストを管理する 税金について		
7	第2編 人という資源	人の能力を高める	1	
	第1章 人という資源	人をやる気にさせるために 給与		
9	第1章 人という資源	福利厚生 労働者の権利	4	
	第2章 健康・安全な職場環境	健康管理の基礎		
10	第2章 健康・安全な職場環境	理容・美容業の仕事と健康 健康問題	3	
	第3章 従業員の視点から	社会人としての責任 社会保険		
11	第3章 従業員の視点から	社会保険 キャリアプラン	3	
	第3編 顧客のために	サービス・デザイン		
12	第1章 サービス・デザイン	価値の実態 価値の多様性	4	
1	第1章 サービス・デザイン	サービスの範囲	3	
	第2章 マーケティング	マーケティング、マーケティング		
		マーケティングミックスの要因		
2	第2章 マーケティング	マーケティングミックスの要因	3	
	第3章 サービスにおける人の役割	接客についての理解 接客の実践		
		国家試験対策		
			時数合計	31
教科書	運営管理			
使用教材				
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ワインディング		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
上澤 優紀			実習	93(3)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として従事していたサロンワークの経験を活かして、パーマネントウェーブ概論や技術を指導し、国家試験課題であるワインディング技術の習得と合格できるように指導する科目である。			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
国家試験課題ワインディングに関する基本的な技能及び知識を習得する ワインディングでのコンクール入賞と国家試験合格を目指す				
評価方法				
授業の出欠状況、取り組み方も含め、学期毎試験を行い60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	4章パーマネントウェーブ	使用道具の説明	9	
		コームの持ち方、動かし方		
		ロッドセッティング、ゴムの留め方		
		ワインディングのブロッキング		
		ロッドの巻き方（上巻き、下巻き）		
5		ワインディングのブロッキング	9	
		ロッドの巻き方（上巻き、下巻き）		
		全頭巻き方、角度		
6		復習、全頭完成30分	12	
7		全頭構成タイム20分目標	9	
9		ワインディングのブロッキング	12	
		全頭構成タイム短縮、きれい巻き		
		コンクール対策		
10		〃	12	
11		〃	3	
12		〃	12	
1		校内コンクール対策	9	
2		〃	6	
			時数合計	93
教科書	技術理論1、技術の解説			
使用教材	ワインディング用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ワインディング		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
上澤 優紀			実習	101
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として従事していたサロンワークの経験を活かして、パーマントウェーブ概論や技術を指導し、国家試験課題であるワインディング技術の習得と合格できるように指導する科目である。			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
国家試験課題ワインディングに関する基本的な技能及び知識を習得し、国家試験合格を目指す ワインディングでのコンクール参加及び入賞を目指す				
評価方法				
授業の出欠状況、取り組み方も含め、学期毎試験を行い60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	4章パーマントウェーブ	国家試験スタイル 20分	9	
5		〃	12	
6		〃	6	
7		〃	9	
8		〃	3	
9		〃	9	
10		〃	9	
11		試験対策	6	
12		〃	11	
1		〃	16	
2		〃	11	
			時数合計	101
教科書	技術理論1、技術の解説			
使用教材	ワインディング用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 オールウェーブ		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
白石美和子			実習	93(3)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務しサロンワークを経験、ヘアセット、オールウェーブの作り方などを基礎から指導し、国家試験合格目指し、技術の習得を指導する科目である			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
ウェーブの理論と技術を理解し身につける。				
評価方法				
学期毎の実習テスト、授業時の取り組む姿勢で総合的に評価する。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	6章 ヘアセッティング	・実習用具の確認、概論	6	
		・ヘアセッティングとは		
		・フィンガーウェーブのやり方		
5	6章 ヘアセッティング	・ノーパート7段構成(1～3段)	9	
6	6章 ヘアセッティング	・ノーパート7段構成(4～7段)	9	
7	6章 ヘアセッティング	・ヘアカーリング理論	9	
		・スカルプチュアカール作り方		
		・スカルプチュアカール(フロント)		
9	6章 ヘアセッティング	・スカルプチュアカール(3段目)	12	
10	6章 ヘアセッティング	・スカルプチュアカール(フロント+3段目)、	12	
11	6章 ヘアセッティング	・スカルプチュアカール(フロント+3段目)、	9	
12	6章 ヘアセッティング	・リフトカール4段目	12	
1	6章 ヘアセッティング	・リフトカール4, 5段目	9	
2	6章 ヘアセッティング	・リフトカール5段目	6	
			93	
教科書	技術理論1、実技課題集			
使用教材	オールウェーブ用具一式、			
留意点	積極的に自主練習をする			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 オールウェーブ		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
後藤 英里奈			実習	93(3)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務しサロンワーク経験を活かして、ヘアセットの基本からオールウェーブの作り方などを指導し、国家試験合格できるように技術の習得を指導する科目である			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
ヘアセットの構成を理解し、国家試験課題構成が試験時間内にきれいにできるようになり、国家試験合格を目指す				
評価方法				
学期毎の期末試験で60点以上を合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第5章ヘアセットイング	1年次復習	3	
5		メイポールカール,クロッキノールカール復習	6	
6		課題構成確認	12	
7		オールウェーブセットイング 30分	6	
8		オールウェーブセットイング 29分	3	
9		オールウェーブセットイング 27分	12	
10		オールウェーブセットイング 25分	15	
11		試験対策	9	
12		試験対策	6	
1		試験対策	12	
2		試験対策	15	
			時数合計	99
教科書	技術理論 1、実技試験課題集			
使用教材	オールウェーブ用具一式			
留意点	積極的に自主練習を行うこと。			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ヘアカット		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	93(3)
実務経験	実務経験内容			
有	美容室でスタイリストの実務経験を活かしてヘアカット等のシザーズの持ち方、姿勢、基本的カットなどから指導し、国家試験課題のカットスタイルを合格できるよう指導する科目である			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
用具の正しい扱い方から、ベーシックなカット技法までを習得する				
評価方法				
学期毎のテストで習熟度の確認。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	ヘアカット	用具の取り扱い方	9	
5	ヘアカット	ワンレングス（まっすぐ）	9	
6	ヘアカット	ワンレングス（前下がり）	12	
7	ヘアカット	ワンレングス（前上がり）	6	
8	ヘアカット	復習	3	
9	ヘアカット	グラデーション45度	9	
10	ヘアカット	グラデーション60度	9	
11	ヘアカット	セイムレングス（後ろから）	9	
12	ヘアカット	セイムレングス（前から）	9	
1	ヘアカット	レイヤースタイル（国家試験スタイル）	12	
2	ヘアカット	レイヤースタイル（国家試験スタイル）	6	
			時数合計	93
教科書	技術理論1			
使用教材	カット用具一式			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ヘアカット		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	155(5)
実務経験	実務経験内容			
有	美容室でスタイリストの実務経験を活かしてヘアカット等のシザーズの持ち方、姿勢、基本的カットなどから指導し、国家試験課題のカットスタイルを合格できるよう指導する科目である			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
サロンワークに必要な基礎的技術を習得する。国家試験合格をめざす。				
評価方法				
学期毎の期末テストで評価。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第4章ヘアカット	1年時復習 正確なパネルの引き出し方	12	
		ブラントカット ワンレングス		
5		レイヤーカット グラデーション	12	
6		ストロークカット ポインティングカット	17	
		スライシング		
7		セニングカット	12	
8		レザーカット テーパーカット	3	
9		ベーシックスタイルの創作	19	
10		実技試験に向けて 課題の解説	20	
11		国家試験対策 第1課題	13	
12		国家試験対策 第1課題	17	
1		国家試験対策 第1課題	15	
2		サロンスタイル 創作スタイル	12	
3		サロンスタイル 創作スタイル	3	
		時数合計	155	
教科書	美容技術理論1			
使用教材	シザーズ・レザーの道具一式			
留意点	授業の出欠状況、取り組み方も評価に含む。自主練習を積極的に行う。			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 メイクアップ		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	10年以上従事していたサロンワークでメイクの実務経験有り。基礎的な技術からナチュラルメイク、ステージメイクなど様々なメイクの知識・技術を習得できるように指導する科目である			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
美容師として必要なメイクアップの基礎を学び知識と技術を身につける				
評価方法				
学期末試験を行い、60点以上を合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	10章メイクアップ	メイクアップ 概論、用具類説明、セッティング、保管、 顔のプロポーション、骨格と筋肉、身だしなみ、姿勢	6	
5		スキンケアの実際(拭き取り、オイル塗布) フェースプロポーション、拭き取り	6	
6		トーンング、期末練習課題、オイル塗布 水化粧、ベースメイク、ファンデーション	8	
7		トーンング、スキンケア、ベースメイク 化粧品類	4	
		ポイントメイク(アイブロウ) アイブロウ(眉毛カット)とアイメイク		
9		アイメイク・アイブロウ、期末練習課題 ベースメイク、ファンデーションとパウダリング	8	
10		リップメイク、ブラッシュオン ポイント(アーチ眉、アイメイク、リップ丸)	8	
11		面取り	4	
12		リップ、ブラッシュオンについて、期末練習	8	
1		リップメイク角、ブラッシュソリッド	6	
2		ベースメイクアップ仕上げ、老けメイク メイク仕上げ試験	4	
				62
教科書	技術理論2、参考資料			
使用教材	化粧道具一式、授業プリント、ルーズリーフ、ファイル、化粧品類等			
留意点	提出物、各実技テスト等合格すること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 メイクアップ		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	10年以上従事していたサロンワークでメイクの実務経験有り。基礎的な技術からナチュラルメイク、ステージメイクなど様々なメイクの知識・技術を習得できるように指導する科目である			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
美容師として必要なメイクアップの基礎を理解し、三善テクニカルコースディプロマ取得に向けと知識と技術を身につける				
評価方法				
学期末試験を行い、60点以上を合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	10章メイクアップ	ファンデーション多色塗り、メイクと色	6	
		男性メイク、舞台メイク		
5		ステージメイク	6	
6		三善イメージメイク①～④	6	
7		期末試験メイク練習	6	
9		三善イメージメイク⑤、洋装花嫁	4	
10		七五三化粧、成人式、和装花嫁化粧	8	
11		期末試験洋装花嫁メイク	6	
12		国家試験対策	6	
1		〃	6	
2		〃	6	
3		〃	2	
			62	
教科書	技術理論2、参考資料、授業プリント、ルーズリーフ、ファイル			
使用教材	化粧道具一式、化粧品類、文化論教科書			
留意点	提出物、各実技テスト等合格すること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ネイル		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
上澤 優紀			実習	54
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として従事していたサロンワークの経験を活かして、ネイルの知識の習得と技術を指導し、ネイル検定3級取得合格できるように指導する科目である。			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を習得し、ネイリスト技能検定3級取得を目指す				
評価方法				
授業の出欠状況、取り組み方、作品の仕上がりも含め、学期毎試験を行い60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	8章 ネイル技術	実習用具の確認、ネイル技術理論	6	
		ネイル技術の種類、爪の構造と機能		
		爪のカット形状、テーブルセッティング		
5		ネイルアートの基礎知識	6	
		フェスティバル展示作品制作		
		復習		
6		ポリッシュ類塗り方	10	
		ネイルケア		
7		爪の病気、ネイルケア	6	
8		復習、ネイルケア	2	
9		3級検定対策	6	
		検定の手順		
10		3級検定対策	4	
11		3級検定対策	6	
		模擬試験		
12		3級検定対策	4	
1		3級検定対策	4	
			時数合計	54
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック、技術理論2			
使用教材	ネイル用具一式			
留意点	相モデルでの授業があります			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上薫			実習	56
実務経験	実務経験内容			
有	従事していたサロンワークでの実務経験を活かして、シャンプーイング概論から技術まで習得できるように指導する科目である			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
サロンワークに必要な基礎的技術を身につけ、総合的な美容技術を身につける。				
評価方法				
学期毎の期末テスト、授業の出欠状況、授業時の取り組み方で評価し、60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第6章	道具の説明 ブラシの持ち方、動かし方		6
	ヘアセッティング	一束に結う ピンの開け方、留め方		
5		一束結び・カーリーロープ		4
		三つ編み、編み込み		
6		三つ編み、編み込みスタイル完成		6
7		アップスタイル 作品1		6
9		アップスタイル 作品1復習		6
10		アップスタイル 作品2		6
11		アップスタイル 作品3		4
12		アップスタイル 作品4		6
1		アップスタイル 作品5		8
2		アップスタイル 作品1～5復習		4
			時数合計	56
教科書	美容技術理論1			
使用教材	ブラシ コーム ダッカードール ピン類 すき毛 ゴム類			
留意点	積極的に自主練習を行う			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上薫			実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	従事していたサロンワークでの実務経験を活かして、シャンプーや、カラーリングなど技術習得できるよう指導する科目である			
授業の内容				
美容師として必要な基礎的技術から総合的技術を習得する。サロンワークの流れを知る				
到達目標				
サロンワークに必要な基礎的技術を身につける。フォトコンテスト				
評価方法				
学期毎の期末テスト、授業の出欠状況、授業時の取り組み方で評価。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第2章 シャンプーイング	セットスタイル	6	
5	第6章 ヘアセッティング	セットスタイル	6	
6	第7章 ヘアカラーリング	ブリーチ マニキュア	8	
7		ブリーチ マニキュア	4	
9	第2章 シャンプーイング	サイドシャンプーイング	8	
10		バックシャンプーイング	8	
11		スカルプマッサージ	4	
12		国家試験対策	8	
1		国家試験対策	6	
2		サイドシャンプーイング バックシャンプーイング	4	
		ヘアトリートメント・スカルプ トリートメント		
				62
教科書	美容技術理論 1			
使用教材	タオル、ドライヤー、ブラシ類			
留意点	相モデルが基本。積極的に自主練を行う。			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美術		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上薫			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
無	美容師として美容室での実務経験を活かし、ヘアカラー、メイクで実践できるよう配色などを理論的に指導する科目である			
到達目標				
パーソナルカラーの理解をさせ、まず3級合格を目指し、自分ブランディングができるようになること。その後、2級検定合格、アドバイザーをめざす。また、サロンワークで活かせるようにする				
評価方法				
学期毎の期末テスト、授業の出席状況、授業時の取り組み方で評価し、60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	パーソナルカラー3級	・パーソナルカラーの基礎理論	4	
	序章	・色の三属性 色相 明度 彩度		
	1章 2章	4シーズンに合わせた三属性の理解	6	
5	2章 3章 4章	・対比 反射 吸収について理解		
		色相對比 明度対比 彩度対比 理解と演習		
6	5章 6章	・4シーズンの系統色名と慣用色名について似合う	8	
		コーディネート方法について		
7		3級検定に向けてのポイントまとめ	4	
8		3級ポイントまとめ	2	
9	パーソナルカラー2級	パーソナルカラー活用アドバイザーとは	6	
	序章 1章	PCCSシステムについて		
10	2章	配色演習 統一と変化の考え方について	8	
11	3章	色素をもとにしたコミュニケーション	8	
12	5章 6章	三属性を中心としたドレーピング方法	4	
		簡易ドレープカードを使っでの練習		
1	7章	コーディネートのアドバイスの提案を具体的に演習	6	
2		2級検定に向けて 4シーズンの特徴まとめ	6	
		ポイント中心にまとめ問題		
		時数合計	62	
教科書	パーソナルカラー3級・2級テキスト			
使用教材	色相環 トーン表 4シーズンボード カラーカード			
留意点	色相環 三属性 トーンの仕組みの理解すること。相手を見ながらの演習もあります。			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美術 デッサン		1年	3学期	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
古川 久容			講義及び実技	14
実務経験	実務経験内容			
有	美術系スクールの講師経験を活かし、スタイル画の基本の理解をさせ、デザイン画のコンクール入賞を目指すための科目である。			
授業の内容				
スタイル画を学ぶ				
到達目標				
コンクールのヘアデザイン画部門で入選を目指し、デザイン画技術の習得を目指す				
評価方法				
授業態度、提出課題などで評価。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
1	ヘアスタイル画	顔(目・鼻・口)の位置づけを数字的に覚える		8
2	〃	コンテスト作品制作 デッサン		6
		時数合計		14
教科書	テキスト			
使用教材	デッサン用具、ケント紙等			
留意点	授業態度、提出物重視			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎（接遇）		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
宮口 秀和			講義及び実技	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としてサロンワーク従事後、美容商材の経営者としての経験を活かして美容師としての社会性コミュニケーション能力の理解、習得、接遇の基本からきめ細やかな接遇の実践までをロールプレイによる実技で指導する科目である。			
授業の内容				
接客用語、所作、マナーを基礎から学ぶ				
到達目標				
SBS接遇検定3級合格を目指し、学校の集団生活の中から美容師としての社会性、コミュニケーション能力の理解と習得、接遇技術の基本習得 美容室の業務全体のロールプレイで習得する				
評価方法				
期末試験、授業の出欠状況、美容室接遇の共通スキル演習などから学期毎評価し、60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	学校内のマナー	美容師としての夢と接遇・マナー	2	
		美容学校とはなにをすところ		
5	学校内のマナー	まわりの人への接し方 ルールを守る	4	
		学校内の各部屋でのマナー 身だしなみ・表情		
6	美容室接遇の共通スキル	立ち方 歩き方	4	
		おじぎの仕方		
7	美容室接遇の共通スキル	立ち方 歩き方 おじぎの仕方	1	
	美容室接遇の共通スキル	立ち方 歩き方 おじぎの仕方		
9	美容室接遇の共通スキル	発声 話の聴き方 話の仕方	4	
10	美容室接遇の共通スキル	言葉づかい あいさつ	3	
11	美容室での業務の流れ	自分を表現する 予約～お迎え 受付	3	
	美容室での業務の流れ	予約～お迎え 受付 施術～お会計・お見送り		
12	3級検定試験	3級検定試験	4	
1	接遇・マナーを学ぶ前に	接遇2級 美容師という職業の魅力	3	
		なぜ美容サロンで接遇・、マナーが必要なのか		
2	履歴書による自己表現	就職面接のポイント	3	
		2級コミュニケーション バーバル 履歴書作成		
			31	
教科書	接遇教本			
使用教材				
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎（接遇）		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
宮口 秀和			講義及び実技	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としてサロンワーク従事後、美容商材の経営者としての経験を活かして美容師としての社会性コミュニケーション能力の理解、習得、接遇の基本からきめ細やかな接遇の実践までをロールプレイによる実技で指導する科目である。			
授業の内容				
接客用語、所作、マナーを基礎から学ぶ				
到達目標				
SBS接遇検定2級合格を目指し、ホスピタリティに満ちた、きめ細やかな気ばたらきの接遇の実践やロールプレイによる演習を行う。また履歴書、就職面接による自己表現、事例に合わせたロールプレイなども行い、習得する。				
評価方法				
期末試験、授業の出欠状況、美容室接遇の共通スキル演習などから学期毎評価し、60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	マナーを学ぶ前に	美容師という職業の魅力 なぜ接遇・マナーが重要か 就職面接のポイント	2	
5	履歴書による自己表現	2級コミュニケーション パーバル	4	
6	履歴書作成の留意点	履歴書作成 就職面接	4	
7	就職面接での自己表現	接客業としての基本行動	1	
	就職面接の留意点	スタイリストビジョンの実現と希望サロンの		
	就職面接の留意点	理由を明快に伝える		
9	本試験対策 1	事例1 歓迎と伝達 お客様対応	4	
		事例2 お客様対応		
10	本試験対策 1	事例3 上司との対話	3	
		事例4 お客様対応		
11	本試験対策 2	事例5 上司との対話	3	
		事例6 先輩との対話		
12	本試験対策 2	事例7 仲間との対話	4	
	検定試験 2 級	検定試験 2 級		
1	一般常識	職場の人間関係	3	
2	一般常識	乗り物のマナー 冠婚葬祭マナー	3	
			時数合計	31
教科書	接遇教本			
使用教材				
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎(数学)		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
到達目標				
業務に必要な数学の知識を得る				
評価方法				
期末試験の他に、レポート提出等総合的に判断する。60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	数の計算	* 四則計算	3	
		計算の基本		
5	いろいろな単位	* 生活上必要な単位	3	
		重量、長さ、容量、速さ、		
6		濃度	4	
7	損得勘定	* 消費税	3	
		* 利益、損益の出し方	1	
9	液体の濃度	* 濃度の概念	3	
10		* 濃度の計算	4	
11		* 体積濃度と重量濃度	4	
		* 希釈倍率からの濃度		
12	濃度問題抜粋)	2		
1	国家試験に向けて	* 国家試験の教科の説明	3	
2		* 国家試験の教科の説明	1	
		* 年間を通しての質問		
			時数合計	31
教科書	無			
使用教材	プリント			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
栄養理論		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	現役薬剤師として薬局勤務で服薬指導の経験を活かして美を追求する美容師として健康や美を保つための栄養素についての基本を理解させ指導する科目である。			
授業の内容				
健康や美を保つための栄養素について基本を学ぶ				
到達目標				
美を追求する美容師として 皮膚や毛をはじめとする皮膚付属器官の栄養は食物から摂取することの大切さを認識させ 健康や美を保つための栄養素やライフスタイルについての基本を理解させる。				
評価方法				
学期毎筆記試験、提出物の評価で60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第6章 体のリズム	体のリズム 睡眠のメカニズム 練習問題	6	
		栄養学の歴史 練習問題		
5	第1章食生活と健康・栄養	炭水化物 糖質と食物繊維 練習問題	6	
		脂質 トリグリセリドと脂肪酸		
		コレステロール 練習問題		
6		タンパク質とアミノ酸	8	
		アミノ酸スコア 練習問題		
		期末テスト対策 期末テスト		
7		消化の仕組み 消化吸収後の行方	2	
		エネルギー代謝		
9		ビタミン 脂溶性ビタミン	8	
10		ビタミン 水溶性ビタミン ミネラルについて①	8	
11		テスト対策 期末テスト	6	
		水について、アルコールについて		
12		たばこの害について アルコールについて	6	
		免疫力を高める・ストレスに負けない食の科学		
1	第4章 ライフスタイル	基礎代謝	8	
	第7章 食生活と安全確保	食品の安全を考える 期末テスト対策		
2		期末テスト対策 期末テスト	4	
		皮膚と栄養について		
		時数合計	62	
教科書	(株)化学同人 発行 『食生活と健康づくり』			
使用教材	各章ごとに制作したワークシートと練習問題 東京法令出版(株) 発行 新食品成分表			
留意点	各章ごとにワークシートに書き込み、課題を提出すること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
エステティック		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			講義及び実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	従事していたサロンでフェイシャルエステの経験があり、エステ概論、技術の習得をさせる。 また検定3級取得を目指し指導する科目である			
授業の内容				
エステティック概論、フェイシャルエステの基礎技術を学ぶ				
到達目標				
検定3級取得に向けて基礎から仕上げまでできるようにする				
評価方法				
学期毎テストを行う。60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	エステティック概論	セッティングの仕方 スポンジでのふき取り手順確認	4	
5	消毒	ポイントクレンジング手順確認 ハンドクレンジング手順確認	4	
6	皮膚の生理と構造	ハンドクレンジング手順確認 クレンジングを通して実習	8	
7	フェイシャルパック	クレンジングを通して実習 マスクの塗布手順確認	4	
8	マッサージ理論	マッサージ手順確認	2	
9		クレンジングからマッサージまで	8	
10	カウンセリング	マッサージ手順確認 クレンジングからマッサージまで	8	
11	検定に向けて	検定に向けて通して実習	6	
12	検定に向けて	検定に向けて通して実習	4	
1	検定に向けて	検定に向けて通して実習	8	
2	検定に向けて	検定に向けて通して実習	6	
			時数合計	62
教科書	美容技術理論2・検定3級用のテキスト			
使用教材	エステティックの道具一式			
留意点	各々の肌の状態により、相モデルが出来ない場合は指示します			

教科名	対象学年	開講学期	区分
総合技術	1年	通年	選択
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
白石美和子 馬上 薫		講義及び実習	62(2)
実務経験	実務経験内容		
有	従事していたサロンワークの経験を活かして、着物概論・浴衣・留袖などの技術の習得、アップスタイルの基本的な技術、毛髪の概論など幅広く美容について学ぶ科目である		
授業の内容			
着付け概論から浴衣、留袖を着せられる技術を習得、基礎的セット技術の習得、ヘアケアマイスターについて学ぶ			
到達目標			
着付けの基礎を修得し、SBS着付け検定3級合格を目指す。また毛髪について学び、ヘアケアマイスター検定プライマリー合格を目指す。福祉美容について学び検定合格を目指す。			
評価方法			
期末試験、検定結果、授業の取り組み姿勢などから学期毎評価し、60点以上合格とする。評価は秀、優、良、可、不可とする			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	11章 着付け	着付け概論 着物の各部位の名称	6
	2章 シャンプー-イック	シャンプー概論	
5	11章 着付け	浴衣の着付け（ボディまたは、相モデル）	6
	11章 着付け	半幅帯（帯結び）	
6	11章 着付け	浴衣の着付け（3級検定対策）	6
7	11章 着付け	浴衣の着付け（3級検定対策）	6
8	2章 シャンプー-イック	サイドシャンプー	2
9	ヘアケアマイスター	初級検定対策	6
10		〃	8
11	福祉美容	概論	6
12		福祉美容	4
1		福祉美容	6
2		福祉美容	6
		時数合計	62
教科書	技術理論1. 2、ヘアケアマイスターテキスト、福祉美容テキスト		
使用教材	着付け用具一式、タオル等		
留意点	持ち物は必ず持ってくる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合B ネイルコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名直子 松田孝子 峯知世			講義及び実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	サロンワーク勤務での経験を活かし、ネイル検定2級取得を目指し、理論・技術の習得を指導する科目である。			
授業の内容				
より深く学習したい、専門的な技術を身につけたいコースを選び、コース別に行われる授業で技術の習得を目指します				
到達目標				
ネイル検定2級取得を目指しながら、サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、ネイルアートに関する技能や知識を習得する。国家試験合格を目指す。				
評価方法				
授業の出欠状況、取り組み方、作品の仕上がりなどから学期毎評価する。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	ネイル	道具、用材類説明	10	
		チップラップ手順		
		検定説明		
5		チップラップ手順	8	
6		チップラップ・クリーンナップ（復習）	14	
7		ファイリング・クリーンナップ	10	
8		チップラップ・カラーリング・アート	4	
9		ネイリスト検定2級対策（通し練習）	14	
10		ネイリスト検定2級対策（通し練習）	16	
11		国家試験対策	14	
12		国家試験対策	8	
1		国家試験対策	14	
2		国家試験対策	12	
			時数合計	124
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック			
使用教材	ネイル用具一式、美容用具一式			
留意点	相モデルでの授業があります			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合C ブライダルコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
白石美和子			講義及び実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	従事していたサロンワークには、婚礼着付けや着付け、メイクの仕事があり、その経験を活かして和装、洋装メイクの実践的な技術の習得を指導する科目である			
授業の内容				
より深く学習したい、専門的な技術を身につけたいコースを選び、コース別に行われる授業で技術の習得を目指します				
到達目標				
ブライダルの美容業務や、サロン業務にあるヘアセット・着付け・メイクなどトータルで実習し技術を習得する。また、SBS着付け検定2級合格を目指す。国家試験合格を目指す。				
評価方法				
学期毎授業での作品の出来映え、出席状況、授業態度など総合的に評価する。評価は秀、優、良、可、不可とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	着付け技術	振袖着付け・メイク・ヘアセット(相モデル)	10	
5		スタイル別ヘアセット・メイク(相モデル)	8	
		洋装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)		
6		洋装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)	14	
7		洋装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)	10	
8		和装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)	4	
9		和装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)	14	
10		振袖、留袖着付け(相モデル)	16	
11		SBS着付け2級検定試験	14	
		試験対策		
12		試験対策	8	
1		試験対策	14	
2		試験対策	12	
			時数合計	124
教科書	技術理論2			
使用教材	タオル、足袋、メイク用具、ヘアセット用具等,美容用具一式			
留意点	相モデル授業。モデルと技術者の両方をやります。水化粧(首、襟足含) 有			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合D エステティックコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
上澤 優紀			講義及び実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	サロンでフェイシャルエステの経験があり、エステ技術や理論を指導し、エステ検定2級合格できるように指導する科目である。			
授業の内容				
より深く学習したい、専門的な技術を身につけたいコースを選び、コース別に行われる授業で技術の習得を目指します				
到達目標				
S B S 検定2級取得を目指す、国家試験合格をめざす。				
評価方法				
授業の出欠状況、取り組み方などから学期毎評価する。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	エステティック	道具、用材類の説明	脱毛	10
		エステティック概論、機器概論		
		クレンジング		
5		健康な皮膚の条件、肌分析	脱毛	8
		マッサージ概論		
		ハンドトリートメント、マスク		
6		検定対策(通し練習)	脱毛	14
7		検定対策(通し練習)	脱毛	10
8		検定対策(通し練習)	脱毛	4
9		検定対策(通し練習)	脱毛	14
10		機器	脱毛	16
11		機器	脱毛	14
		試験対策		
12		試験対策		8
1		試験対策		14
2		試験対策		12
			時数合計	124
教科書	テキスト			
使用教材	エステ用品一式、美容用具一式			
留意点	相モデルでの授業			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合E アイラッシュコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
後藤英里奈			講義及び実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	まつ毛エクステンションメーカーに講師として従事していた経験を活かして、まつ毛エクステンションの知識・技術の習得を指導する。サロンワーク勤務での経験を生かし、ネイル検定2級取得を目指し理論、技術の習得を指導する科目である。			
授業の内容				
より深く学習したい、専門的な技術を身につけたいコースを選び、コース別に行われる授業で技術の習得を目指します				
到達目標				
まつげエクステンションに関する基本的な技能及び知識を習得する。国家試験合格を目指し、ABE アイラッシュエクステンションアシスタントディレクター資格取得をめざす				
評価方法				
授業・検定への取り組み方、作品の仕上がり等から評価。評価は秀、優、良、可、不可とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	まつげエクステンション	・まつげエクステンション概論		10
		・まつげエクステンションの用具		
		・衛生管理		
		・保健		
5		・カウンセリング		8
		・事前準備		
		・エクステンションの装着		
6		・エクステンションのリムービング		14
		・学生技術大会練習		
7		・学生技術大会練習		10
8		・エクステンションの装着（タイム短縮）		4
9		・検定対策		14
10		・エクステンションの装着（タイム短縮）		16
		・まとめ ・検定受験		
11		・国家試験対策		14
12		・国家試験対策		8
1		・国家試験対策		14
2		・国家試験対策		12
				124
教科書	まつげエクステンション教科書			
使用教材	まつげエクステンション用具一式			
留意点				

